



下関ガーデナーズ協会

数々の課題に直面しながら、知恵を出し合い課題を克服し「下関を花でいっぱい美しい街にしたい」という思いで活動をしている下関ガーデナーズ協会を紹介します。

下関を
花でいっぱいの
美しい街に

小さな思いを大きな力に

ガーデニングには、景観形成効果、療養の効果など、さまざまな効果があります。このような効果に着目し、「花

と緑に彩られる家庭や地域になつたらいいな」そんな市民の小さな思いを集めて、大きな力に変えていく仕組みをつ

くるために、下関ガーデナーズ協会が設立されました。今年で設立10周年を迎えます。

協会が設立当初から続けているのが「海峡花通り」の花壇の一角の手入れです。国道9号の唐戸から竹崎町までの



▲「海峡花通り」の手入れ。毎月第1日曜日に花殻を摘んだり、枯れた花を切ったりします。

約2キロは「海峡花通り」と呼ばれ、市民や団体、企業などたくさんの方が花の植え付けや手入れをしています。

協会が手入れをしている花壇の周りには水道の給水栓がなく、花に不可欠な水を調達することが課題でした。当初は会員が水を入れたペットボトルを持ち寄っていました

が、近くのお店の方が水を提供してくださるようになりました。しかし、この場所です

入れができるのは月に一回。水の蒸発を防ぐために石を置いたり、乾燥に強い植物を植

えたりして、メンテナンスフリーの花壇にしました。

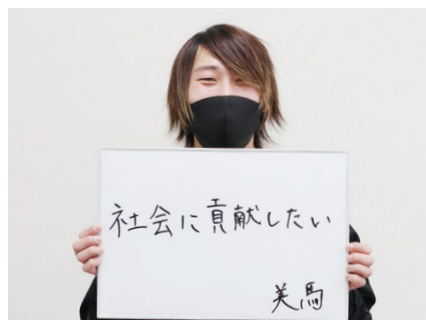
もう一つ協会が力を入れているのが、旧下関英国領事館の花壇です。7年前、旧下関英国領事館がリニューアルオープンするとき、何もないところから花を植えて欲しいと依頼されました。今ではバ





まちかどボイス

今月のテーマ
二十歳の誓い



▶花壇に花を植えながら、花の育て方や特徴を学びます。「花の育て方や名前が覚えられるので、楽しいです」と会員の方が話してくれました。



◀寄せ植え講習会の様子。スキルアップにもつながり、会員が家でも花を育てることで輪が広がっていきます。



▶「手入れをしていると通りすがりの方が声をかけてくださるのが励みになります」と吉田会長。

ラをはじめ、季節の花々を建物の雰囲気合うように植えられています。
地道に美しい庭や花壇を作っていく

現在会員は20人ほど。会員の技術やセンス、意識の向上のために、寄せ植えの講習会、ガーデンツアーや、ガーデンセラピーフォーラムなどを開催してきました。
会員の香月靖子さんが10年の思い出を話してくれました。「雨が降らず、植物が枯れたことがあります。唯一生き残っていた花を分けて植え、次に見に行くと、しっかり根を張って、わっと大きくなっ

編集後記

- 「自然の恵み」と「自然災害」。両面性をもつ自然にどう寄り添って生きていくか、梅雨を迎え、考えさせられます。(と)
- タイムカプセルを埋めた記憶があります。今から30年以上前のことですが、何を書いたかも、本当に埋めたかもあやふやです。(ひ)
- 楽器を演奏できる人はかっこいいです。取材で聞いたフルートの響きに心を癒されました。多くの方に聞いてほしいです。(き)

ていたんです。植物の力強さを感じ、元気をもらいました」
「会員が学んだことを家で実践して美しい庭を造り、それを見た周りの人がまた美しい庭を造る。海峡花通りや旧下関英国領事館の花壇を見た人が、美しい花壇を造る。そんな風に、輪が広がっていつて欲しいです」そう話す吉田玲子会長。「市民の心に花に対する意識が浸透し始めた気がします。これからも地道に活動に取り組んで、下関を花でいっぱい美しい街にしたいです」
協会への問い合わせは、吉田会長(☎090-4658-6868)へ。